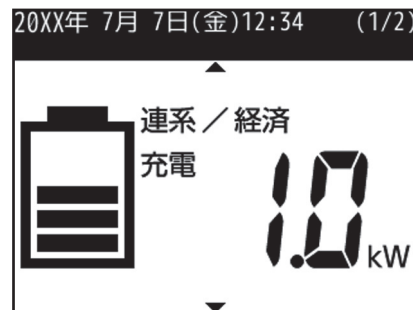


設定を変更する

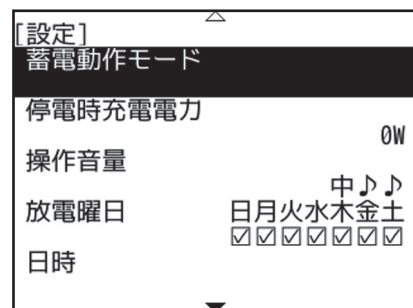
1 メイン画面 (⇒ 23) 表示中に設定ボタンを押す

- 設定画面が表示されます。



2 設定を変更したい項目を選び、決定ボタンを押す

- 蓄電動作モード (⇒ 下記)
- 停電時充電電力 (⇒ 40)
- 操作音量 (⇒ 40)
- 放電曜日 (⇒ 41)
- 日時 (⇒ 41)
- 充放電時刻 (⇒ 42)
- 契約アンペア (⇒ 43)
- HEMS 接続 (⇒ 44)
- ネットワーク (⇒ 44)



蓄電動作モード

蓄電動作モードの詳細設定 (SOC 下限 / 夜間充電量) をします。

◆SOC 下限

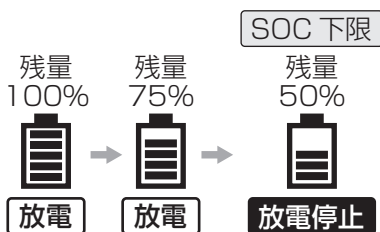
停電に備えて、残しておく蓄電残量 (SOC 下限) を設定できます。

放電中に設定した SOC 下限値まで達すると、蓄電池ユニットの放電が停止します。* (SOC : State Of Charge)

* 停電時には、設定した SOC 下限値に達する前に、放電が停止する場合があります。(⇒ 下記)

【SOC 下限を 50% に設定した場合の例】

蓄電残量が 50% になるまでは、太陽光発電の発電電力やご家庭の消費電力に合わせて放電し、蓄電残量が 50% になると放電を停止します。



- 放電停止後、蓄電池ユニットは充放電時刻設定で設定した充電時間帯になるまで待機状態になります。

- SOC 下限の設定は、経済モードとグリーンモードで連動します。(安心モードの SOC 下限の設定は連動しません。)
- 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時には規定の蓄電残量になると放電を停止します。規定値以上まで充電を行うと、放電を再開します。蓄電残量の規定値は 8% のため、SOC 下限設定を 0% に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。停電時に電気を使いたい場合は、余裕を持った設定にしてください。

設定を変更する（つづき）

● 蓄電残量と停電時の使用時間のめやす

蓄電池ユニットの蓄電残量が50%残っていて、1000VA消費する電気製品を使う場合の時間は約2時間です。*

* 以下の状態での数値です。

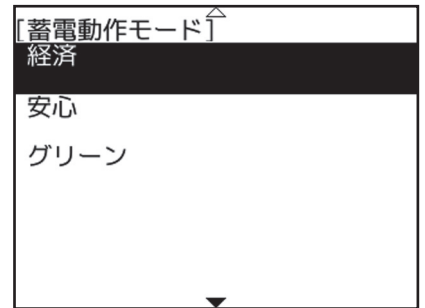
- 蓄電池ユニットが新品の状態
- 停電時モードが蓄電池給電モードの場合

● 蓄電残量（SOC 下限）の設定と実際の表示について

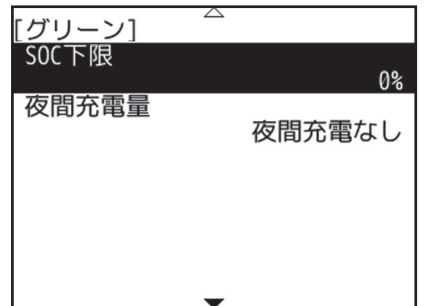
蓄電残量（SOC 下限）を0%や100%に設定しても（⇒37）、メイン画面に表示される蓄電残量（⇒27）には1%や99%と表示される場合があります。蓄電池の特性によるものなので、異常ではありません。

1 変更したい蓄電動作モード（「経済」 / 「安心」 / 「グリーン」）を選び、決定ボタンを押す

- 詳細設定（SOC 下限 / 夜間充電量）を変更したい蓄電動作モードを選んでください。
- 蓄電動作モードの切り替えをしたい場合は、35 ページをご覧ください。

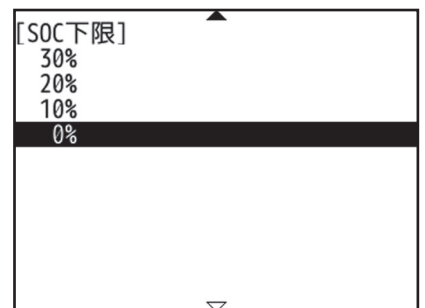


2 「SOC 下限」を選び、決定ボタンを押す



3 設定を選び、決定ボタンを押す

- 放電時に使用できる蓄電残量の下限値（%）を設定します。（10% 刻み）
 - 経済モード：0*～30（%）
 - 安心モード：0～50*～100（%）
 - グリーンモード：0*～30（%）
- *それぞれのモードでの初期値になります。



4 内容を確認して、決定ボタンを押す